

JUNGLIAで新しい自分を発見！ テーマパークの舞台裏を現役社員が語る ～アトラクション担当編～

沖縄に誕生する新たなテーマパーク「JUNGLIA OKINAWA(ジャングリア沖縄)」では、オープニングに向けて一緒にパークを盛り上げてくれるスタッフを募集しています。今回は、アトラクション担当のお二人に、仕事のやりがいや魅力についてインタビューを行いました。



曾我部 朱里さん(写真左)
神藤 優志さん(写真右)

Q1. 自己紹介をお願いします。

神藤さん: 私は2024年7月に入社しました。以前は別のテーマパークで9年間働いており、そのうち5年間は時間帯責任者として勤務していました。

曾我部さん: 私は2025年2月に入社しました。前職はフィットネススタジオのインストラクターでテーマパークでの勤務は初めてです！

Q2. ジャングリアで働こうと思ったきっかけは何ですか？

神藤さん: 前職のテーマパークで働き始めた頃から、沖縄にもテーマパークができるという話を聞いていて、ずっと興味を持っていました。テーマパークでの勤務経験は長いですが、立ち上げはひと味違うと思い、思い切ってチャレンジしてみたくになりました。

曾我部さん: 沖縄で新しいテーマパークができるというワクワク感と、テーマパークの立ち上げというなかなか出来ない経験ができることに魅力を感じて応募しました。

ーちなみに沖縄移住の不安は？

神藤さん: 沖縄には来たことがなかったので、今住んでいる場所との環境の違いに適應できるのかという不安はありました。ただ、意を決して移住してみると食事も美味しいですし、住んでいる地域の方々やJUNGLIAの同僚も良い人が多くとても楽しく暮らせています。

曾我部さん: 私も慣れない環境に飛び込むのは不安でしたが、前職に沖縄出身の方がいて、その方にいろいろと沖縄のことを聞いていましたし、その方のお人柄良かったので、思い切って決めることができました！

Q3. アトラクション担当の具体的な仕事内容や

入社後にまず行う業務はどのような内容ですか？

神藤さん: 私は「[ダイナソーサファリ](#)」の担当ですが、どこも基本は同じなのでそこのお話をさせていただきます。最初は先輩社員から座学形式で各アトラクションの種類や操作方法、運営する上でのマニュアル、ゲスト(来場者)の安全を守りながら楽しんでいただくためのフローを学んでいきます。その後は実際にテーマパークの中に入って実地研修を行います。

序盤に入社する方は今後入社してくる方々への教育を担当する「トレーナー」という役割も担っていただく方がいますが、その方々には、新人教育のステップや手法も覚えていただきます。人に何かを教えた経験がないという方でも、研修制度がばっちり整備されているので興味がある方はぜひチャレンジしていただきたいなと思います。

曾我部さん: 私は「[ホライゾンバルーン](#)」を担当していますが、基本的には同じようにトレーニングを進めていきます。大きな違いとしては、アトラクションが全く異なるので、バルーンの膨らませる方法を学んだり、パイロット研修やウィンチ(ケーブル)研修など、固有の研修プログラムがあります。その上で、実際にゲストが来たことを想定したロールプレイングを行い、実際のシチュエーションに近い状態で業務を覚えていただきながら、ゲストが楽しめる最適なオペレーションと一緒に作り上げていけたらと思っています！

ー各アトラクションではこういった役割の仕事がありますか？

まずはアトラクションの待ち列の調整係が配置され、その後にゲストの受付があります。そこでは安全のための身長や体重制限等の確認を行います。その次には、ゲストのグループごとの人数を聞いた上で、できるだけ無駄がなく、できるだけ満席でアトラクションを体験してもらうために、適切な配分で待機列へ誘導します。ここの捌き方ひとつで待ち時間の短縮、つまり満足度の向上に繋がります。そこから実際のアトラクションへ乗っていただく案内を行う役割や、実際にアトラクションを操作する担当もいます。各施設が安全に運営されているかを全体的にモニターする人や、体験後にアトラクションからの降車案内をする役割があります。シフトの日はずっと同じ役割を行うわけではなく、ローテーションの中で1日の中でもいろいろな業務を担当するので、担当アトラクションを運営するためのすべての役割をできるようになっていただきます。

Q4. この仕事のやりがいは何ですか？

曾我部さん:アトラクションポジション特有の楽しさがあります。パークの顔である花形ポジションとして、ゲストに楽しんでもらうために全力で接客するという経験は、他のアルバイトではなかなかできないものです。テーマパークの目玉であるコンテンツでゲストに喜んでいただく経験ができるのはアトラクションの醍醐味だと思います。

神藤さん:正解がないものを一から作っている感覚が楽しいです！お客様対応一つとっても正解がない中で、自分で考え、仕組みを作るのは面白いですね。

一社員ではなくアルバイトでもそんな経験はできるんですか？

神藤さん:アルバイトや社員に関わらず、パークを良くするための提案は大歓迎です！人が成長していくことを喜び楽しんでくれるような環境ですし、パークがオープンして人が増えるとさらにそういった環境になるのではないかと期待しています。

曾我部さん:私は経験のない業界に飛び込みましたが、経験に関係なく、発言・意見ができる環境だと私も感じています。私も含め、テーマパーク経験者ではない方は、最初は不安そうでしたが、日を重ねるごとに和気あいあいと意見を言い合える環境になっています。



Q5. どんな人が向いていますか？

神藤さん:アトラクション担当は一人で完結する仕事ではなくゲストとの関わりがある業務なので、ゲストを楽しませながら自分も楽しめるような人や、チームで何かに取り組むことが好きな人におすすめです。あとは派手なアトラクション運営だけでなく、地味な仕事でもその先にゲストの満足があると考えて動ける人は向いていると思います。

ー「人見知り」だとアトラクション担当で働くのは難しいですか？

神藤さん：今まで長くテーマパークで働いた経験から言うと、そういった人でも変われると感じています。現在働いているメンバーの中にも、最初は人見知りだったという人もいますし、人見知りを克服したいという思いからテーマパーク業界で働き始めた方もたくさん見てきたので、ぜひテーマパークへの業務を通し新しい自分を発見してほしいです！

02 | アトラクションに向いている人は「こんな人」



人を楽しませることが好き！



チームで取り組むことが好き！



大きな声は誰にも負けない！



人見知りを直したい！



前向きに考えることができる！

STRICTLY CONFIDENTIAL Japan Entertainment Inc.

Q6. これから応募を検討している人に向けてメッセージをお願いします。

神藤さん：テーマパークで働いてみたいけれど、今まで一歩踏み出せなかった方も多いと思います。ジャングリアのスタートに立ち会えるのは得難いチャンスだと思うので、未経験でも、人生で面白い経験をしたい人はぜひ応募してみてください！

曾我部さん：ゼロからみんなで作り上げていく経験は貴重だと思います。何かにチャレンジしたいと思う方、新しい人生を始めたい方は、ぜひ一緒に働きましょう！

JUNGLIAのアトラクション部門で働く一日の流れ(例)



JUNGLIAでは、オープニングスタッフとして、パークと一緒に創り上げていく仲間を募集しています。新しいことにチャレンジしたい方、成長を実感したい方、そしてゲストの笑顔を創りたい方、ぜひジャングリアであなたの力を発揮してみませんか？